

取付/取扱説明書

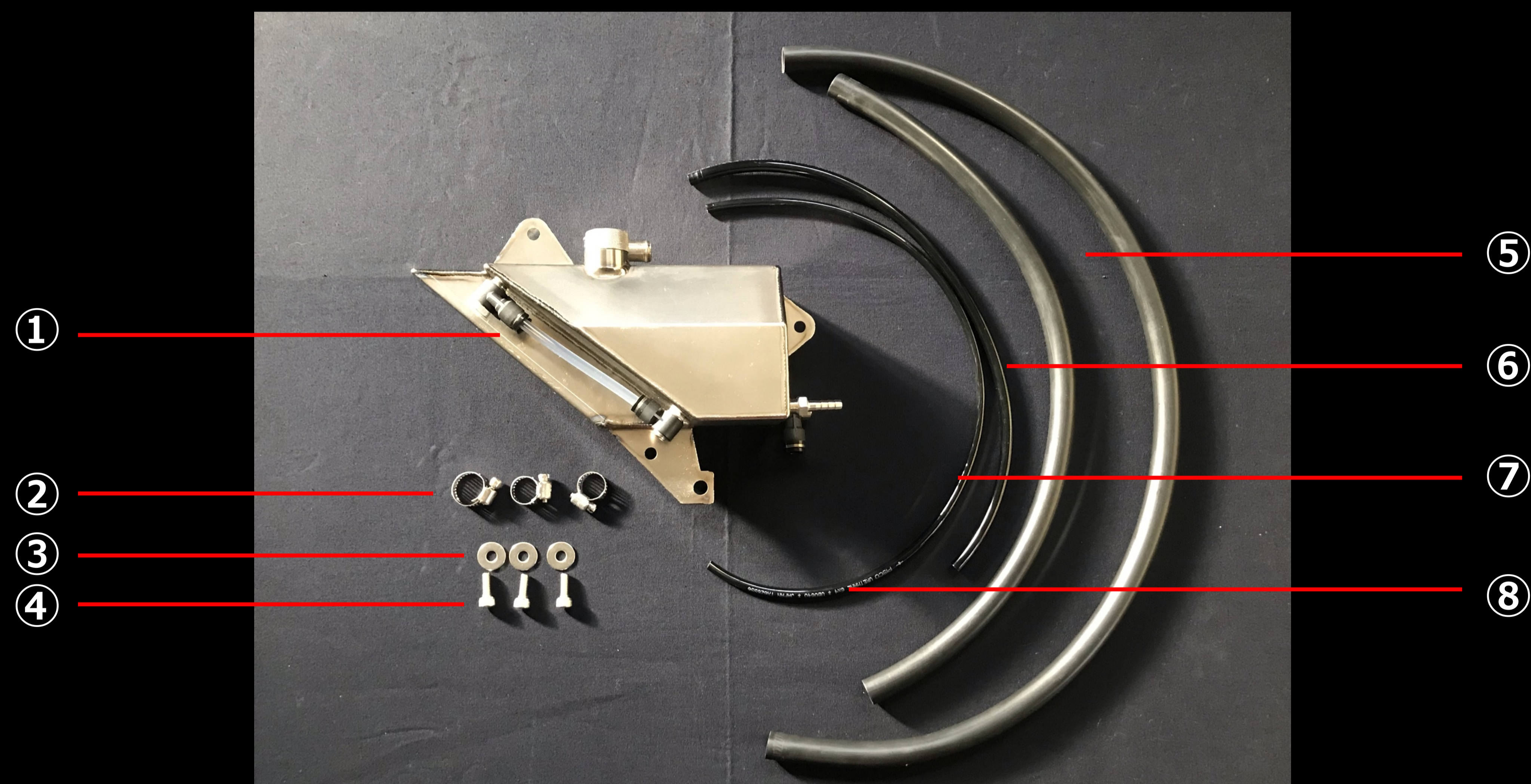
この度は製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。お使いになる前に、本説明書をよくお読み頂き、本製品を正しくご使用ください。また、取り付け前には、必ず商品内容をお確かめください。万一、お気づきの点がございましたら、当社にご相談ください。

| 本製品、取扱い、取り付けの注意事項とお願い（ご使用前に必ずお読み下さい）

△本製品はノーマルステップの場合は取付不可、リヤショックリザーブタンクの移設が必須、フェンダーレスの形状によっては干渉する可能性があります。

- ・本製品の取扱いおよび組み付けは、オートバイの構造を十分理解されている方を対象としています。基本的な技能や知識を持っていない人が作業を行った場合、正しく組み付け出来ない場合があります。周辺部品の役割等が理解できない方は、整備に熟知した方（整備士の方等）に依頼してください。
- ・取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を進めてください。
- ・組み付け不良やセッティングミスによるエンジンその他関連パーツの破損やそれに伴う事故等についてはすべて本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ・本説明書に記載されていない取り付け、取扱いおよび改造加工などを行った場合、本製品の機能等を阻害するばかりではなく、車両等の不具合や事故につながる恐れがありますので、絶対に行わないでください。万が一、上記の理由で不具合や事故が起こった場合、当社は一切の責任をもちませんので、あらかじめご了承ください。
- ・この商品の使用および価格は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで、大切に保管くださいますようお願いいたします。

| 部品構成内容



- | | |
|------------------|---------------------------|
| ① Wキャッチタンク本体 × 1 | ⑤ ブリーザーホース（長い方）Φ16 × 1 |
| ② ホースバンド × 3 | ⑥ ブリーザーホース（短い方）Φ16 × 1 |
| ③ ワッシャー × 3 | ⑦ オイルキャッチタンクドレンホース Φ8 × 1 |
| ④ ボルト × 3 | ⑧ LLCのオーバーフロー用ホース Φ8 × 1 |

※ 別途コルゲートチューブが付属されます。

※ ホース類は車両の取り回し状況により長短は適時ご調整ください。



この表示を無視した取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・取付作業を行う際は、必ずその作業に適した工具を用いて、確実に締め付けてください。
- ・キット内部品および指示された部品以外の使用や、加工などは一切行わないでください。部品を破損させる可能性があります。

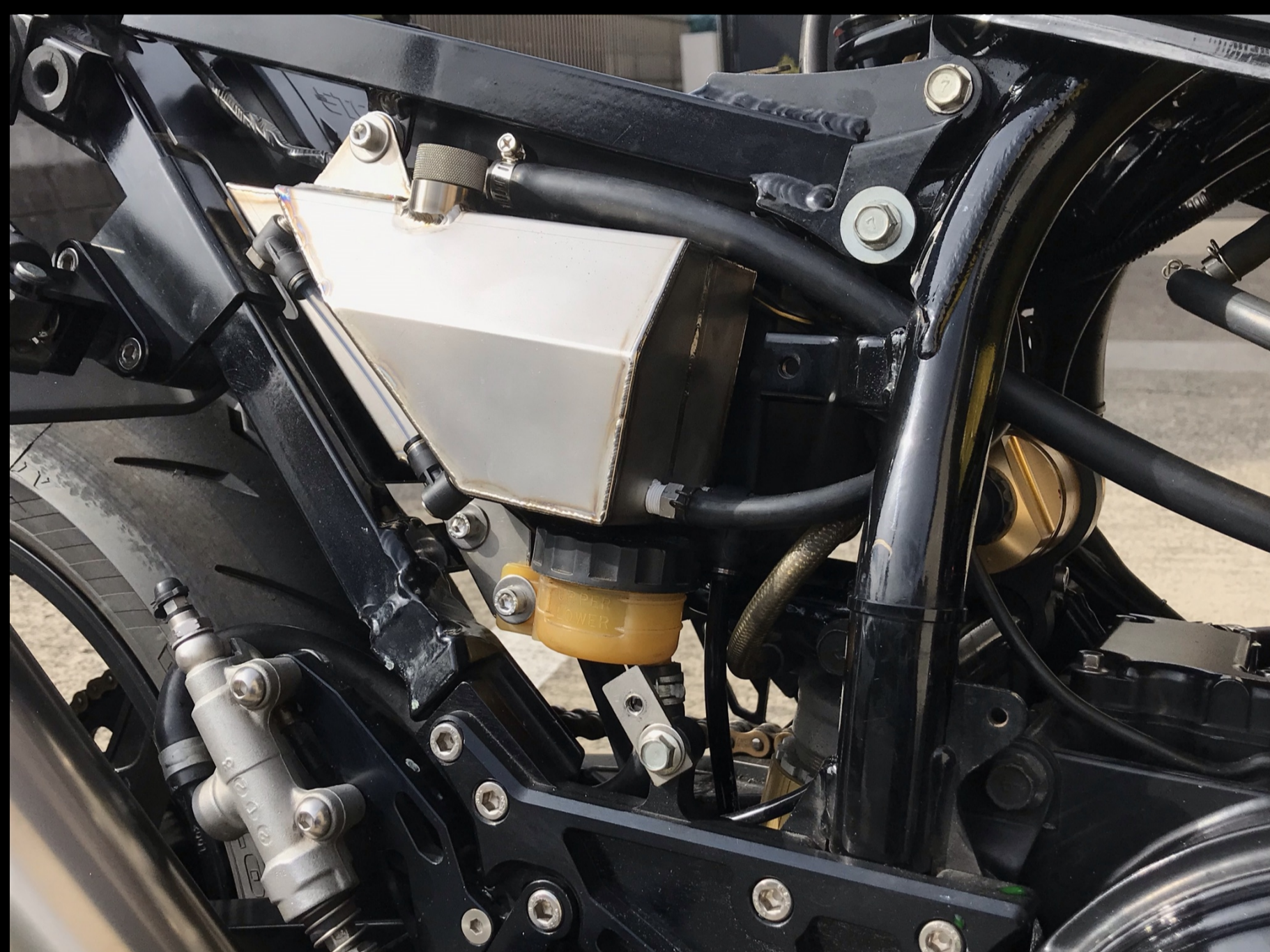
設置方法 ※ 周辺部品の役割等が理解できない方は、整備に熟知した方（整備士の方等）に依頼してください。



LLC側ホース類装着関係図



キャッチタンク側ホース類装着関係図



装着完成写真

1) LLCリザーブタンクのLLCを抜いて、タンクに取り付けてあるホースを抜きタンクを取り外してください。

※ 取り外したホースは新しいタンクに接続します。

2) ブレーキリザーブタンクのオイルを抜き取りタンクを外してください。

※ ブレーキオイルが車両につかないように注意してください。ついてしまった時はすぐに水で流すなどして洗浄してください。塗装など剥がれの原因になります。

3) 新しいタンクをあてがい、フレームとバッテリーケースあたりを通っているハーネスをタンクが取り付けられる位置までずらしてください。

その他のハーネスも束ねるなどしてください。バッテリーケースから出ているハーネスクランプが邪魔な時は切断してください。

4) その他フェンダーレス、リヤショックリザーブタンクなど取り付けに際して問題がある部分は、移設や切断するなどしてください。

5) タンクの取り付けが確認できましたら、付属のブリーザーホース（Φ16）長い方をタンク上面に、短い方をタンク裏面の差し込み口に差し込み付属のホースバンドで固定してください。

6) ブリーザーホースを取り回しながらタンクを車体に付属のM6キャップボルト、ワッシャーで仮固定してください。

※ ハーネスなどの挟み込みやタンクの干渉、ブリーザーホースの折れ曲がりやつぶれなどには十分注意してください。折れ曲がりや潰れなどがあると走行中にエンジン内圧が必要以上に上昇してヘッドカバーなどのガスケットが抜けます。無理な取り回しなどは絶対にしないでください。

※ 付属のホースで取り回しが出来ないようでしたら申し訳ありませんが同等品をお客様自身でご用意してください。

※ 取り回し不良によるガスケット抜けは保証致しかねます。

7) LLCのオーバーフロー用ホース（Φ6）を取り回しを考え、LLC残量ゲージ上側のワンタッチ継ぎ手二股の空いている所に差し込んでください。

差し込みが完了するとホースはロックされます。

差し込み直しが必要な時はホースが刺さる部分の黒いリングを本体側に軽く押しながらホースを抜いてください、リングを押している間はホースのロックは解除されます。

8) オイルキャッチタンクドレンホース（Φ8）をLLCオーバーフロー用ホースと同手順で取り付けてください。

※ ドレンの継ぎ手の中に見えるマイナス頭を回すとドレンできるようになっています。

※ オーバートルクには十分注意してください

9) 純正のLLCタンクに差し込まれていたホースを新しいキャッチタンクのドレン継ぎ手の左隣のニップルに差し込みクランプしてください。

10) LLCオーバーフローホース、ブリーダードレン用ホース、大気開放用ブリーザーホース、3本がスイングアームピボットあたりを通るので、スイングアームへの干渉には注意してください。

干渉しそうな場合は3本を束ねて付属のゴルゲートチューブで保護してください。

11) ホース類の取り付けが完了しましたら仮固定のボルトを本締めを行ってください。

※ オーバートルクに注意してください。

12) 取り外したブレーキリザーブタンクをホースの取り回しに注意して、オイルを入れずに一度取り

付けを確認してください。

取り付けの確認ができましたらオイルを入れて取り付けてください。

取り外しの際のオイルの抜き方によっては、ブレーキのエア抜きが必要になる事があります。オイルを入れてリヤブレーキの作動を確認してください。

13) 取り付け作業が完了しましたら、再度キャッチタンク本体の干渉、ハーネスの噛みこみ、ホース類の曲がり、潰れ、干渉などの確認を行ってください。

14) 再確認が終わりましたらLLCフィルターキャップよりLLCを注入してください。

15) 取り付けがすべて完了して、初走行後はLLCタンクの残量の確認を行ってください。